

もしものために
登録を

「避難行動要支援者名簿」を作成しています

災害が発生した場合や発生するおそれがある場合に、自力で避難することが困難で特に支援を必要とする高齢者や障がい者などを「避難行動要支援者」として事前に把握し、災害等による緊急時の避難支援や安否の確認などを実施するための基礎となる「避難行動要支援者名簿」を作成しています。この名簿は、対象となる本人の同意により、平常時から避難支援等関係者に情報提供することとしています。



- ▼対象 市内に住む在宅の人で、次の条件に該当し、避難に手助けを必要とする人（長期間施設に入所している人や入院している人を除く）
- ① 75歳以上の高齢者のみで構成される世帯の人（同じ世帯の他の人が75歳未満であっても要支援者である場合はこれに含む）
 - ② 身体障害者手帳1～3級を持っている人
 - ③ 愛護手帳（療育手帳）の「A判定」を持っている人
 - ④ 精神保健福祉手帳1・2級を持っている人
 - ⑤ 要介護の区分が、要介護3～5の人

⑥ その他、避難行動に支援を必要とする人（難病、歩行困難、日中に75歳以上の高齢者のみの状態になる人など）

▼申請方法 名簿登録申請書に必要事項を記入の上、福祉総務課（市役所1階）へ郵送または持参で提出してください。

※申請書は福祉総務課で配布しているほか、市ホームページに掲載しています／一度登録した人は再登録不要です／代理人による持参・郵送も受け付けます／民生委員・児童委員が訪問した際に名簿登録申請書を記入した場合は、民生委員・児童委員が代理として提出してください。

▼市から名簿を提供する団体（避難支援等関係者）

- (1) 弘前地区消防事務組合消防本部
- (2) 弘前警察署
- (3) 避難行動要支援者が居住する地域の民生委員・児童委員
- (4) 弘前市社会福祉協議会
- (5) 避難行動要支援者が居住する地域の自主防災組織

※(4)・(5)は団体が希望した場合のみ。

■問い合わせ・申請先 福祉総務課総務係
(〒036-8551、上白銀町1の1、☎40-7037)

連載 むっちゃんの 教えて文化財!

■問い合わせ先 文化財課
(☎82-1642)

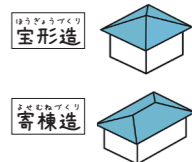
第3回 祈りの広がり 普門院本堂

今回は「山観」の名で親しまれる普門院。

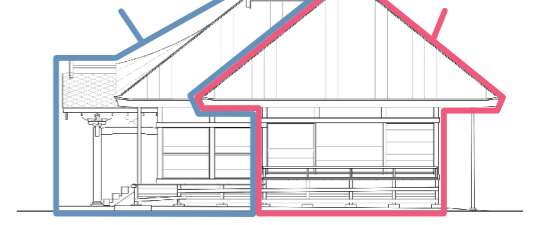


江戸時代中頃に描かれた弘前の地図には「観音祠」として描かれています。

本堂は屋根が特徴的。元々あった宝形造の建物に寄棟造の建物を増築した変わった建築です。



後で付け加えられた寄棟造の部分 元からあった宝形造の部分



本堂を真横から見た図

最近新たに指定された文化財や、話題になっている文化財の魅力を毎月お伝えします!

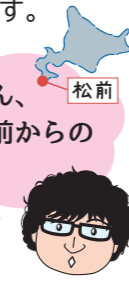


案内人・むっちゃん
文化財行政に携わって12年!学芸員資格を持つスペシャリスト(?)職員。最近の愛読書は、古代の中国を舞台にした漫画「キングダム」。

寄棟造の礼堂の柱や壁には参拝記念の墨書きがたくさん残されています。

津軽一円はもちろん、中には北海道・松前からの参拝者のものも!

昔の人は本当に信心深いですね。



ということで、当時、参拝の輪が庶民にも広がり訪れる人が増えたことが本堂の特徴的な姿に繋がったと考えられています。

まさに「祈りの広がり」を表した文化財ですね

次回「祭の様子を華麗に伝える 弘前八幡宮祭礼図巻」

Hirosaki Art Times

ヒロサキ・アート・タイムズ #17

弘前れんが倉庫美術館に関連する情報を連載しています。

■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館 (☎32-8950)
ホームページ <https://www.hirosaki-moca.jp/>

涼しい美術館——煉瓦倉庫今昔

夏真っ盛りの8月。暑さから逃れようと建物の中に入った方がいいものの、冷房が効き過ぎて体が冷えたり、逆に外に出るのがつらくなったり…そんな経験、誰しもありますよね。そこで今回は、美術館の建物の機能についてお話ししたいと思います。

例えば、館内の温度・湿度調節もそのひとつです。利用者に快適に過ごしてもらうことはもちろん、作品を保管するためには、常に一定の温度・湿度を維持することはとても大切なこと。一般的に美術館の展示室や収蔵庫は、室温22℃前後、湿度50～60%に保たれるのが理想とされています。急激な温度変化が体に負荷をかけるのと同じように、美術作品も環境の変化によってダメージを受けやすくなるのです。作品は展覧会ごとに入れ替わりますが、未来のためにそれらを保管し、研究することも美術館の重要な役割です。

煉瓦倉庫が酒造工場だった100年前、酒の発酵にとっても、やはり温度・湿度の管理はとても大切なことでした。昔も今も変わらない、この場所のちょっと不思議な巡り合わせに思いをはせながら、夏の涼しい美術館で過ごしてみるのも良いのではないのでしょうか。



▲館内に残されている古い貯水タンク (撮影 柴田祥)

建築ガイドツアー

館内を巡りながら、建物の歴史や見どころについて当館スタッフが解説します。

▼とき 毎月第3土曜日(8月は20日(土))に開催、午前11時から(開始10分前に受け付け)

▼定員 10人(先着順)

▼参加料 無料

※事前の申し込みは不要/1階受付前に直接集合。



地域子育て支援拠点事業/

地域子育て支援センターをご利用ください!

市では、「弘前市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て中の親子（主に未就学児と保護者）が身近な地域で気軽に集い、子育てに対する不安の解消等を図ることができるよう、「地域子育て支援センター」を開設しています。

★センターの機能と役割

- ◎育児相談（電話相談・面接相談など）
- ◎子育てに関する講座、体験型事業等の実施
- ◎子育て支援室と園庭の開放
- ◎子育てに関する情報提供

★開設場所（市内4カ所）

名称	所在地・連絡先
みどり保育園地域子育て支援センター	吉野町 ☎32-0510
大浦保育園地域子育て支援センター	賀田2丁目 ☎82-3037
相馬こども園地域子育て支援センター	紙漉沢字山越 ☎84-3103
弘前市駅前こどもの広場	駅前町、ヒロコ3階 ☎35-0156

曜日ごとにさまざまな講座を開催しています。詳細は、市ホームページ(QRコード)でご確認ください。

■問い合わせ先 こども家庭課保育係 (☎35-1131)

